

サンビオティック農業通信

丸長園芸研究会本部

TEL: 0959-27-0087 Email: abs@gold.ocn.ne.jp

発刊案内

サンビオティック農業通信の発刊案内

この度、会員各位の農業経営に少しでも寄与できるように、農業通信を刊行いたしました。会員の皆様への情報提供と交流の場にしていただくと考えています。

農業をとりまく環境は厳しいものがあり産地間競争も激しくなっています。

しかしながらこのような厳しい状況のなかでも知恵を出し合い一歩ずつ改善を積み重ねていけば大きなチャンスをもたせることができますと信じています。

サンビオティック農業は農業者にも消費者にも優しく、これまでの化学肥料や農薬では得られな

質、生産性、そして安全性を両立することができる農業を目指します。

本誌では、全国で実践されていますサンビオティック農業の事例をご紹介しますほか、農業経営や生活にプラスになる情報を掲載いたします。

最新の微生物技術を応用したサンビオティック農業を、皆様の永年に渡り研究工夫してきた農業技術のなかに取り入れてください。きっと新たな発見や喜びがあるはずです。

私どもも、全力で会員の皆様の農業経営に貢献したいと存じま

現地検討会

長崎西海(川内)地区 みかん圃場現地検討会

平成19.8.2



河内地区農家様が7名、丸長園芸研究会から生田社長ほか社員2名の10名が参加し、サンビオティック資材施用圃場を巡回視察しました。根の発育状況、葉や果実の様子、幹の青ごけの取れ具合を検討し、大変順調な生育が確認できました。

川内地区の農家の皆様は本年5月より隔年

結果の防止、品質の向上という目標をあげ地力アップ(アミノ酸ぼかし)、鈴成(発酵リン酸・カルシウム・マグネシウム肥料)、菌力アップを施用しています。



山下氏圃場の表層根

極早生(山本)10aへ5月に鈴成を10袋、6月、7月に菌力

トンの水で灌水施用。上根が伸長し白い細根が多数見られた。



田中氏 極早生圃

鈴成、地力アップ、菌力灌注、糖力葉面散布を実施。表層根が伸長してきており、葉も立ち樹勢は大変良い状態。更に根の発達を促すため梅雨終盤の雨をためこんだ圃場に黒マルチをかけている。



温州みかん

鹿児島早生の隔年結果防止の試み

鹿児島早生は9月中旬収穫で糖度確保のためにタイベックマルチ方式をとっている。栽培上の問題点は秋根の伸長期に土壌を乾燥させるため表層根の障害等で隔年結果を招く。

サンビオティック資材による隔年結果防止の試みを行いました。途中結果ができましたので皆様にご報告いたします。是非、皆様の栽培の参考にしていただければ幸いです。

使用資材は下記(10a当)
 鈴成 20袋、地力アップ 10袋、
 菌力アップ 5L + 糖力アップ 5L
 を100㎡に散布、糖力アップ



試験は平成18年2月より実施。19年の開花期の状況を報告いたします。

鹿児島早生開花期の樹の状況報告(比較試験)

不使用区

施用区



葉の色が悪く
 来年の結果枝
 もなく直花ば
 かりであり樹
 勢がない



直花ばかり
 で、結果枝の
 発生がない



根は乾燥害で
 伸長してない



樹がよわよわ
 しく、幹には
 青ごけの発生



サンビオ
 ティック資材
 使用園全体に
 勢いよく新芽
 の伸長が見ら
 れる。花と同
 時に勢いのある
 結果枝があ
 がってきてい
 る。留葉の大
 きさも申し分
 ない。



地表近くに勢
 いのある太い
 根が伸びてき
 ている。



幹の青ごけも
 すべての樹で
 とれていて、
 若木のような
 樹皮に変わっ
 ってきている。



みかん栽培にはサンビオティック資材！！

十分な根量の確保が重要

まず、地力アップ（アミノ酸ほか）で有機態の窒素を供給し、発生してきた根の伸長を促進するために菌力アップを灌水します。新しい根群をつくるのが強力発根剤である菌力アップの仕事なのです。菌力アップで発生してくる根は活力があり地面に向かって伸長してきます。

そこに待ちうけているのが鈴成から供給される効くリン酸、カルシウムミネラルです。リン酸はおもに新しい根の先端で吸収されますが、非常に吸収されにくい肥料

成分です。

鈴成は微生物で分解し、可溶化させたリン酸を供給するため、リン酸の吸収率は必ず目に見える形で表れます。また、鈴成のマグネシウムは葉の葉緑素の成分となり光合成を高めるばかりでなく、土壌に残留しているリン酸も吸えるようにする大変重要な成分です。鈴成は、リン酸、カルシウム、マグネシウムをベストバランスに配合した樹勢強化に最適の肥料です。

鈴成と菌力アップの組み合わせ。果樹には、これがベストのようです。

サンビオティック資材園状況 7月末

丸長園芸研究会試験園



不使用園

サンビオティック資材を使用していない園の葉は、下を向いてたれており、薄く波うっている。葉食も玉伸びも今ひとつである。



サンビオティック資材施用園

葉がかなり厚く立っている。玉伸びも使用していない園にくらべ各段の差がでている。葉にも果実にもテリがあり、葉色も申し分ない。

編集者より 巻末ご挨拶

いよいよ暑い夏の到来ですね。草刈り、みかんの摘果、秋作野菜の土作り、播種など意外と忙しく疲れやすい季節です。皆様お体に留意してくださいね。次号の発行予定は9月です。益々有益な情報をお楽しみに！